

ここが聞きたい 5人の議員が一般質問

一般
質問

第1日目と第5日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。



岡田 年弘 議員 (11ページ)

- ① 消防水利について
- ② 遊水地整備状況について



北條 勲 議員 (12ページ)

- ① 町のPRについて
- ② 庁舎の節電対策について



水沼 孝夫 議員 (13ページ)

- ① 「中小企業・小規模企業の振興に関する条例」制定について
- ② 行政の責任・将来フレームについて



小林 一男 議員 (14ページ)

- ① 工業団地について



増渕 さつき 議員 (15ページ)

- ① 子育て環境向上のために
- ② 生涯学習推進事業について
- ③ 職員の人事管理について

一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は6月1日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日	午後8時から
再放送	翌日の午後2時から

消防水利について

問 有事の際、地形的に河川及び水路からの取水傾向があるが、晩秋から春先にかけて河川において水量が十分な消防水利として充足できない状況にあるのではないか。

答 町長 現在本町には、公設私設あわせて消火栓340基、防火水槽104基の消防水利があります。新たな設置について消火栓は、必要と思われる場所に設置していますが、防火水槽は町で設置するものについては、平成21年度を最後に新設しておりません。消防団では、

限られた水利の中で迅速かつ的確な消火活動ができるよう、さまざまな火災を想定した訓練も実施しております。水利として一番有効なものは、取水制限がほとんどない河川や用水路などの自然水利です。適正な水利の確保のため、消防団、広域消防と連携し消火栓、防火水槽の整備のあり方について、協議検討を進めていきたいと思っております。

問 防火水槽について、平成21年度を最後に新設していない理由をお聞きます。

答 総務企画部長 従来から消防団各部の要望により整備をしてきたという経緯があります。平成21年度以降、その要望がありませんでした。消火栓や防火水槽の整備の要望があれば、地域の皆様のご意見をまとめて町に要望していただきたく思います。今後も消防団本部の会議等で、必要な消防水利の整備について検討していきたいと思っております。

町としての活用案は。

問 桜堤に数種類の桜を植えることを検討しているがどのような理由からか。

答 町長 芳賀遊水地については、平常時には町民の憩いやふれあいの場として活用したいと考えています。現時点での活用案としては、遊水地の外周を桜堤回廊とし、多くの方々が集い楽しめる空間を創出し、子どもたちが自然の中で、仲間とふれあい体験できる親水施設などの整備を検討しています。

答 建設産業部長 異なる開花期の品種を植栽した場合、見ごろになる時期が長くなるということもあります。同じ開花時期でも花の色の濃淡を変えたり、うことで全体を華やかに、一気に見せることができるかと考えています。

遊水地整備状況について

町としての活用案は。

問 桜堤の計画についてお聞きます。

答 町長 遊水地の堤防に桜などの高木を植樹することは、河川管理上できないことから、県に対して堤防の外側に幅3メートル程度の用地確保を要望しており、そのスペースに複数の品種の桜を2列に植栽し、中央部に散策路を設置できるように検討しています。



▲町消防団操法競技大会の様子



▲工事が進む芳賀遊水地予定地

一般質問



岡田 年弘 議員



北條 勲 議員

町のPRについて

問 町長は知名度を上げるため先頭に立ちPRするというのが、次項目の見解を求める。

答 町の補助金制度等を検索するのに、ホームページはアクセスの時間がかかる。見やすくできないか。

答 企画課長 広報広聴モニター会議でも、ホームページの検索のしづらさは意見がでていきますので、今後検討します。

問 JAはが野芳賀支店は建物に大きな文字で施設名が書いてある。町でも

同じように設置し、芳賀バypassの通行者へのPRはできないか。

答 総務企画部長 芳賀バypassから見える範囲の施設にそのような表示をすることは効果はあると思います。関係課と協議し、対応を検討します。

問 LRT開通前に公共交通の構想を町民に知らせるべきでは。

答 建設産業部長 現在は建設産業部長 現在は実現に向けてバス路線の再編やデマンド交通の改

善等を行っています。LRT整備の進捗にあわせ町民にお知らせします。

問 LRTが開通すると、水橋地区からは清原工業団地管理センターを利用する人も多くなると予想されるが、現在デマンドタクシーは乗り入れできないが、今後の対応は。

答 建設産業部長 清原工業団地管理センターに乗り入れできるように、宇都宮市とLRTの整備を進める中で検討します。

問 芳賀赤十字病院は、真岡鉄道北真岡駅近くに来年春に開院予定である。当町から一番近い駅は市塙と多田羅だが、現在デマンドタクシーは乗り入れできないが、今後の対応は。

答 建設産業部長 真岡鉄道の利用状況などを調査し、需要動向を確認し、必要であれば乗り入れができるよう相手方と協議します。

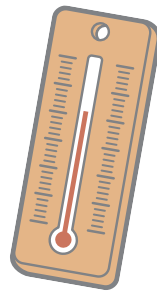
庁舎の節電対策について

問 各階の温度設定は。

答 町長 暖かい空気は上に上がりますので、2階は1階より2度程度低く設定しています。

問 各階に町民も見える「温度計・湿度計」の設置はできないか。

答 町長 設置自体は可能ですが、庁舎には多くの掲示物、看板、時計、案内板、表示装置等がありますので、現時点では設置する考えはありません。



▲建物に大きな文字で施設名が書いてある
JAはが野芳賀支店

一般質問

「中小企業・小規模企業の振興に関する条例」制定について

行政の責任・将来フレームについて

問 中小企業の経営環境は極めて厳しく、資金や人材・事業継承の問題等々困難な状況に直面している。意欲ある中小企業が力を十分発揮できるように支援する必要があると考える。県内

を進めたいと思います。

がいかがか。

25市町の内17市町が制定、もしくは制定を予定しているこの条例について、町も積極的に取り組む必要があると思うが、制定に向けての考えを伺う。

問 平成30年度予算の商工費は、前年より918万円減少して2億7161万円で一般会計のわずか3.6%である。新規事業も無く、取り組みの消極さが見られる。他市町では、「農商工観連携」で創業支援・産業創出・空き店舗活用支援を行うなど、多彩な政策を実施している。また、町の物品購入・業務委託も極力地元から調達し、地元へ還元し商工業者を育成支援する必要がある。町長から職員に指導を徹底していただきたい

答 商工観光課長 益子町・茂木町は既に空き店舗や創業支援を行っている。先進事例が身近にあるので、勉強し、導入に向けて検討したいと思います。

問 平成30年1月1日現在の総人口が1万4997人となり、第6次振興計画の平成39年の目標1万5000人を10年も早く下回った。行政の責任として、人口・土地利用・財政等の将来フレームの目標に対する根拠と政策を具体的に示していただきたい。

まれます。歳出は、団塊世代の2025年問題による社会保障負担増、LRT整備事業や区画整理事業等に多額の財政支出が見込まれ、堅実な財政運営に努めていきます。

答 町長 本町においては、法の趣旨に基づき、近隣の自治体と連携を図りながら条例制定に向けて検討

入・業務委託も極力地元から調達し、地元へ還元し商工業者を育成支援する必要がある。町長から職員に指導を徹底していただきたい

答 総務企画部長 物品購入については、極力町内で購入したいと考えています。業務委託は、指摘のように町内業者で対応できるものは考慮していききたいと思います。

答 町長 計画策定時の推計人口は、宅地造成に伴う転入増を見込んでいるので、今後の社会動態を注視していききたいと思います。土地利用は、祖母井中部北部を重点に一部市街地の拡大や、新たな産業団地の創出、市街化調整区域の下原・橋場地区は地区計画制度の活用により、農地等の都市的土地利用への転換を検討しています。市街化区域拡大は、国・県との協議を進め、具体的にしていききたいと思います。

問 シルバー民主主義といった、我々年輩者が「今が良ければ良い」という発想で、若い人たちをきちんと忖度してあげられないこれは非常に罪なことだと思うが、いかがか。

です。

答 企画課長 シルバー民主主義については、考え方として感じるところではあります。総合戦略の2018年版の実施計画に18億3200万円の予算を計上しています。重点で対策を行ってまいりますのでご理解いただきたいと思います。

答 企画課長 シルバー民主主義については、考え方として感じるところではあります。総合戦略の2018年版の実施計画に18億3200万円の予算を計上しています。重点で対策を行ってまいりますのでご理解いただきたいと思います。

答 企画課長 シルバー民主主義については、考え方として感じるところではあります。総合戦略の2018年版の実施計画に18億3200万円の予算を計上しています。重点で対策を行ってまいりますのでご理解いただきたいと思います。

答 企画課長 シルバー民主主義については、考え方として感じるところではあります。総合戦略の2018年版の実施計画に18億3200万円の予算を計上しています。重点で対策を行ってまいりますのでご理解いただきたいと思います。

答 企画課長 シルバー民主主義については、考え方として感じるところではあります。総合戦略の2018年版の実施計画に18億3200万円の予算を計上しています。重点で対策を行ってまいりますのでご理解いただきたいと思います。



水沼 孝夫 議員



により大幅な税収減が見込

により大幅な税収減が見込



小林 一男 議員

工業団地について

芳賀・高根沢工業団地南側23ヘクタールに 新産業団地の造成

問 芳賀工業団地は、当地域に優良な雇用を創出する理念のもとで造成され、100社を超える企業が操業している。大きな未利用地がなく、第二工業団地の計画があるが進捗状況は。

答 町長 工業機能の拡充と雇用機会の拡大を図るため、芳賀・高根沢工業団地南側23ヘクタールに新産業団地の造成を計画しています。県企業局の協力のもと、来年度は市街化区域編入や農振除外の手続を行

い、平成31年度工事着手、平成32年度予約分譲受付開始を予定しています。早期分譲が可能となるよう、全力で取り組んでいきます。

問 現工業団地にメガソーラーが設置されているが、そのような利用を条例で制限できないか。

答 商工観光課長 太陽光発電施設では雇用は生まれないので、町の活力や雇用を生む産業、企業の誘致ができるよう検討してい

きます。

問 新産業団地分譲の問い合わせは。

答 商工観光課長 平成27年度29件、平成28年度12件、平成29年度16件、要望規模は3〜6ヘクタールの問い合わせがきています。

問 新産業団地の排水処理は。

答 商工観光課長 現状の芳賀工業団地排水処理センターで考えています。現在の稼働率が約25%なので、十分余裕を持って処理できます。

問 中小企業の振興条例への当町の対応は。

答 町長 近隣自治体と連携しながら意見交換し、条例制定に向けて検討を進めたいと考えています。

問 中小企業への新たな支援として、知的財産権取得に対する補助はできな

いか。

答 商工観光課長 近隣で宇都宮市、真岡市は実施していますので、先進自治体を勉強して町に合った部分はやれるよう検討します。

問 優良な正規雇用が人口流出に不可欠と思うが対策は。

答 町長 住宅地と雇用が人口流出の防止に重要と考えています。住宅地は祖陽が丘を整備中で、来年には第1期分譲を開始する予定です。雇用、求人情報はハローワークと連携した情報を町ホームページで提供するだけでなく、町独自に求人情報を収集し、発信する方法を検討する必要がありますと考えています。今後、芳賀町工業団地連絡協議会役員の意見をいただきながら協議していきたいと思

問 茂木町にはハローワークの出張所があるよう

だが、当町にも就職活動の拠点は設けられないか。

答 商工観光課長 もてぎジョブセンターでは、自己完結の町内就職支援、幹旋など資質の高い事業を行っています。当町では、集団面接会などによって町内への就職幹旋を行っています。また、スマートフォン向けのアプリの開発など十分閲覧できる情報発信の方法を勉強していきたいと思っています。



▲工業団地航空写真(平成26年6月)

子育て環境向上をめざし、切れ目のない支援を！

より利用しやすい出前講座を！

問 子育て環境向上のため、芳賀町における妊産婦に対する助成制度の

①妊産婦健康診査の公費負担回数と公費負担増

②産後うつ健診の状況

③妊婦健康相談の状況

④家庭訪問指導の状況についてお聞きする。

答 町長 ①公費負担回数は一人につき14回まで9万5千円を上限として公費負担しています。平成28年度の実績では、101人に対して平均8万3千円を助成しました。

②現在は実施していません

が、平成30年度から健診費用の一部を助成します。③要望があれば保健師等により随時相談に応じてまいります。

④希望する方に産後1か月前後の時期に、保健師または助産師が各家庭を訪問し母子の保健指導を行います。

問 県内では10市4町が設置している「子育て世代包括支援センター」について町の状況をお聞きする。

答 町長 平成29年4月の母子保健法の改正によ

り市町村は同センターの設置に努めることとされ、芳賀町でも平成30年4月から健康増進課内に設置する予定です。ワンストップ拠点として専門のコーディネーターを設置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のないきめ細やかな支援の提供を行ってまいります。

問 必要とされる支援ニーズの把握はどのように

答 健康増進課長 窓口での面談を重視し、詳細な面談を通してニーズの把握をすると同時にセンターの周知をPRしていきます。

問 生涯学習推進事業に位置付けられる「出前講座」のメニューの推移と講座回数や参加者の推移をお聞きする。

が利用しやすくなるよう改善していきます。

答 教育長 出前講座は町民が主催者になり、そこに町職員や一般の講師を派遣する制度で、今日的な課題に対応するよう毎年メニューの見直しをしています。直近3か年の実績は、平成27年度は28講座で669人の参加、28年度20講座で449人の参加、29年度は2月末で21講座606人の参加です。



▲生涯学習ガイドブック「学びピア」

問 生涯学習ガイドブック「学びピア」には申し込

みできる人として町内に在住、在勤、または在学している10人以上の団体とあるが、少人数にも対応できないか。

答 生涯学習課長 申し込み時に相談いただければ柔軟に対応し、多くの方

問 県内の自治体職員が公金を詐取したとされる事件を受けて、未然防止の観点から町としての対応をお聞きする。

答 町長 他の自治体の事件とはいえ、住民の信用を失墜させるものとして重く受け止めています。全職員に対し、公金の取り扱いに慎重を期するとともに一層の綱紀粛正を促しました。

一般質問



増淵 さつき 議員



▲4月に開設された子育て世代包括支援センター